

新学生スタッフ入りました!



学生スタッフ
代表・副代表

今年度もボランティアセンター学生スタッフに新たに2年次生4名、1年次生16名の個性的なメンバーが加わりました!
「関大生にボランティアを広める」という目的のもとにやる気、元気、根気に満ちた新学生スタッフが、どんどん活躍してくれるのではないかと思います。私たち上回生も新スタッフに負けないくらい元気にがんばっていきます!
今後の学生スタッフの活動にご期待ください!

最初はみんな不安でしたが、先輩方や職員さんと日々楽しく活動できて学生スタッフになってから毎日が充実しています!
これからは学生スタッフとして様々なボランティアを経験して、関大生にもっとボランティアを身近に感じてもらい、楽しいと思ってもらえるような企画をしていきたいです。ボランティアには新しい出会いがたくさん待っています。あなたもこの夏、ボランティアしてみませんか?!



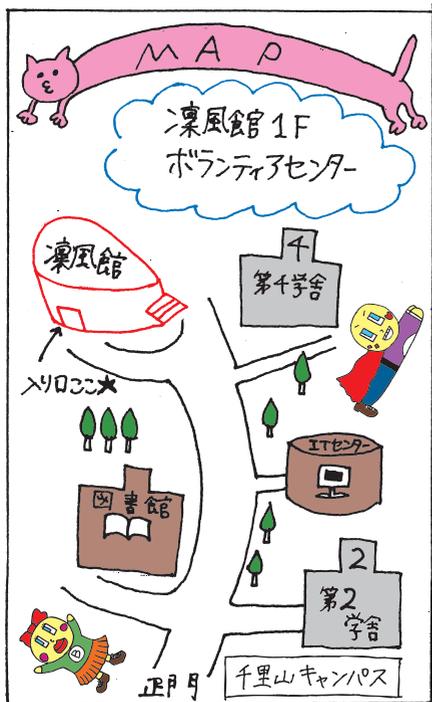
笑顔輝く新学生スタッフ!

編集後記

今回のボラリーは「夏にボランティアを始めてもらいたい」というコンセプトで作成しました。「夏」と「ボランティア」というキーワードで、読んでくれた人の心がワクワクするような紙面を作りたいと思い、みんなで編集作業にあたりました。編集を担当してくれた1年次生の2人からは、「ボラリーを作るようになって初めて文章やレイアウトを考えるのがこんなに大変なことなんだと実感しました。しかしその分やりがいがあったとても良い経験になりました!」との声が聞け、これまでのボラリーの理念が脈々と受け継がれているのを感じました。編集長も各編集委員や関係者の方に負担がかからないよう、東奔西走してくれました。各ページにはそれぞれの編集委員の考えぬいたテーマと工夫が表現されていると思います。それを読んだ人が「夏にボランティアを始めてみたい」と思ってくれたなら最高です。これからもボラリーで人の心を動かしていきたいと思えます。

編集長:ボン
編集委員:しゃちょー、がっきー、いとちゃん、きたば

ボランティアにはみなさんが考えている以上に様々な出会いがあります!編集委員はボランティアの魅力を伝えるため、様々な活動を紹介しています。本誌をきっかけに活動に結びつけていただければ幸いです。(VC職員T)



Volury

ボラリー 関西大学ボランティアセンター通信

夏だ!祭りだ! ボランティアだ!

Vol.18

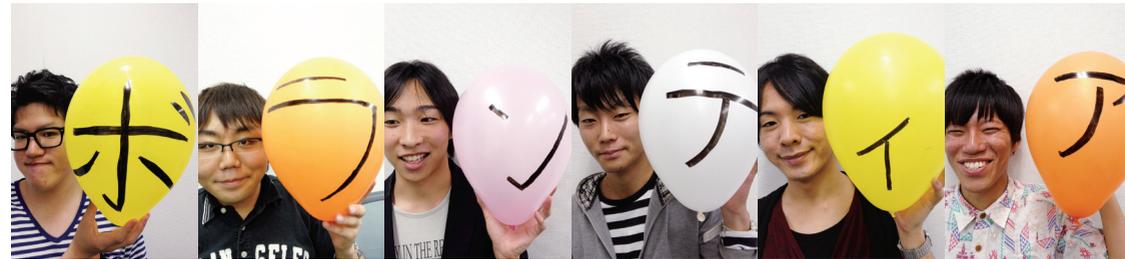
発行日: 2012年(平成24年)7月11日
発行: 関西大学 ボランティアセンター
大阪府吹田市山手町3丁目3-35
〒564-8680 / TEL.06-6368-1121
<http://www.kansai-u.ac.jp/volunteer>



Index:

おすすめのボランティア紹介!

▶P1~2

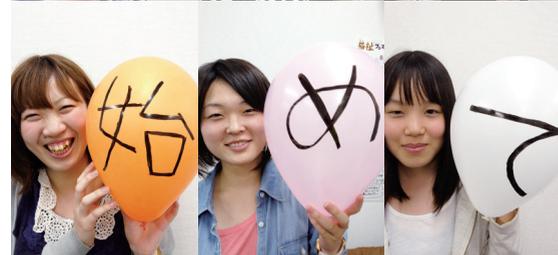


ボランティアに参加してみよう!!

▶P3~4

連載 第6回学生スタッフ
ボランティア体験隊

▶P5~6



「ボランティアをしたいけど、どんな活動があるのかな？」と思っているあなたに朗報!!
このページではボランティアセンター学生スタッフが厳選した、この夏予定されているおすすめのボランティアを紹介します。
興味がある方はぜひボランティアセンターまでお越しください!!
さあみなさんも夏に向けてLet'sボランティア!!



イチオシボランティア!!

ブドウ農家のお手伝い (大阪府羽曳野市)

農業という職業のやりがいを知り、地域のかかえる課題と一緒に取り組んでみませんか？

大阪府羽曳野市では、明治時代からブドウ栽培が盛んに行われています。

しかし、近年高齢化が進み、畑の維持ができない農家が多くなり、遊休農地が増え続けています。

その状況を何とかしようと活動されている関西大学のOBの方がいることを知り、学生スタッフも共に取り組むことになりました。

作業の指導をしてくださる方はブドウ栽培のエキスパートの方で、みなさんが疑問に思ったことには丁寧に答えくださるので色々勉強になります。

●活動内容 ブドウの収穫、畑の草刈り等

●活動時期 8～9月(予定)



動物愛護ボランティア (滋賀県高島市)



被災地や繁殖場、保健所から救い出された犬や猫のお世話を手伝ってみませんか？

現在、日本では毎日保健所で何千匹という犬や猫が殺処分されています。

この団体では保健所から動物たちを救い出して、お世話をする活動をしています。

活動中には団体の代表の方から、日本における動物の問題についてもいろいろとお話をさせていただいて、新しい発見をすることもできます。みなさんも罪もないのに傷つけられた動物たちのお世話をし、日本における動物愛護

のあり方について考えてみませんか？

子犬や子猫もたくさんいるので、犬や猫が大好きな人は是非参加してみてください!!

●活動内容 犬や猫の住んでいる小屋の掃除、散歩のお手伝い等

●活動時期 随時



「飛鳥光の回廊」ボランティア (奈良県明日香村)



そろそろ夏も終わりかという9月の中ごろ、夏の思い出づくりに少し遠出をしてみませんか？

関西大学と奈良県明日香村は様々な連携事業を実施しています。

その中で学生スタッフは「飛鳥光の回廊」ボランティアをおすすめします。

みんなで協力しながら設計図を基に配置し、ろうそくに灯をともした時の達成感は何とも言えません!!

また、休憩時間には数多くの史跡が残る明日香村を散策することもできるので、明日香村の歴史を知る機会にもなります。ろうそくの幻想的な光をあじわいたい方や明日香村の歴史に興味がある方におすすめのボランティアです!!

●活動内容 ろうそくの配置、点灯等

●活動時期 9月中旬(予定)



「ボランティアに興味はあるけど、どうしたらいいのかわからない」
「どんなボランティアがあるのかわかりたい」そんなギモンを解決するために、ここではボランティアについてQ&A形式でお答えします!

Q1. ボランティアの情報ってどこでゲットできるの?

A. 関西大学にはボランティアセンターがあります!!

関西大学ボランティアセンターでは、「ボランティアをやってみたい!」という人に様々なボランティア情報を紹介しています。事務室では職員さんや学生スタッフが相談に応じていますので、凧風館1階のボランティアセンターへ気軽にお越しください。



Q2. どんなボランティアがあるの?

A. ボランティアセンターではこんなボランティアを紹介しています。

学生スタッフが企画しているボランティア

淀川掃除、花植え活動など、気軽に参加できる様々な体験プログラムを企画しています。初めてボランティアに参加するという学生もたくさんいます。いろんな人と楽しく交流しながらボランティアができるのでぜひ参加してみてください!



学外団体主催のボランティア

ボランティアセンターには学外団体からたくさんのボランティア情報が寄せられています。キャンプ、学校、病院での活動など、いろいろな種類のボランティアがあるのでぜひボランティアセンターに来てチェックしてみてください!



Q3. ボランティアに参加するときに大切なことは?

A. ボランティアをするときになんといっても大切なのは自発的に行動すること、そして楽しむことです! まずは自分のできることから始めてみましょう。また、万が一のケガや事故に備えてボランティア活動保険に加入しましょう。詳しくはボランティアセンターまで!



ボランティアセンターでは、ボランティア活動に繋がるような講座などを開催しています。今回は、9月以降に実施するプログラムを一部紹介します!

ボランティア入門講座

ボランティア活動の紹介や楽しさを伝えます!自分に合った活動がここで見つかるか?!



手話講習会

手話で簡単な自己紹介ができるようになります!講習会では、聴障がいについて学べます。



パソコンについて話す会(仮)

まずは身近なところから始めよう!パソコンボランティアについてお話しする会です。



その他、ボランティアセンターではアサーション(自己表現)トレーニング講座や傾聴講座なども開催します! まずは、一度ボランティアセンターまでお越しください!



ここでは、私たち学生スタッフが実際に体験してきたボランティアを紹介しています。今回は、目玉企画「みんなで守ろう！蛍の光ボランティア」を取り上げます。これは大阪府高槻市の新川沿いで、大阪府の絶滅危惧種に指定されている姫蛍の保護を行っている団体のお手伝いをさせていただくボランティアです。この活動を通して参加者がどう思ったのか、生の声を紹介したいと思います。また、活動を時系列で追って、写真を用いつつ、細かく説明していきます。この報告を通してボランティアの多彩性を感じて、さらに興味を持っていただければ嬉しいです！



学生スタッフの声

活動場所が思ったより狭かったので、灯ろうを並べる際に配置が大きく変わり、予定通りにいきませんでした。しかしみんなで話し合い、協力し合えたことで、より感動も大きくなりました。また、灯ろう配置のデザインを最初から自分たちで考えたことも、喜びを分かち合えたポイントになったと思います。たくさんの地元の人たちが完成した灯ろうを見に来てくださり、「きれい!」「また来年もするの?」など声をかけてくれて本当にうれしかったです。

写真提供・文化会写真部



参加者の声

今回のような地域の方々と連携したボランティアはそう経験できるものではなく、地域の人とふれあい自分の価値観や視野が広がりました。灯ろうの配置に悩みましたが、こころよく協力してくださった地域の方々に感謝したいです。また、他の学生とも協力して活動ができ仲良くなりました。ボランティアは、活動するだけでなく人の輪が広がると実感した一日でもありました。このような機会があればぜひまた参加したいです。(人間健康学部 ゆうた)

1日のスケジュール



輪になってみんな自己紹介。市民団体「新川姫蛍と花を守る会」の代表の方からお話をいただき、活動スタート!

16:00



灯ろう作り開始。ペットボトルにビニールを貼ったり、風で飛ばないように土を入れたり。みんなでわいわい共同作業。

17:00



市民団体の代表の方からの挨拶をいただき、夕食タイム!

17:30



灯ろうの観賞。当日は500人以上もの地域の方々が参加し、あたり一面の草むらに数えきれない蛍がキラキラ輝いている様子にとっても感動していた。灯ろうの「ふるさと」という文字は、本学のボランティア参加者の有志で事前に話し合っただけで決めた文字で、「蛍の“ふるさと”を守ること、また東日本大震災をきっかけに自分の“ふるさと”を大切にしよう」という想いが込められている。

18:00

19:00

20:00



できあがった灯ろうを並べる作業へ。灯ろうには地域の子もたちが東北復興への想いをつづった。



灯ろうの点火作業へ。当日は風が強く、火が消えないように、ペットボトルにふたをする工夫をした。また、ライターの数が少なかったため、ろうそくで対応した。このように様々な機転を利かせながら進化した。



地域の方だけでなく参加者にも楽しんでもらえて、とてもやりがいのあるボランティアになりました。このように、ボランティアって楽しい! また参加したい! と思ってもらえるようなボランティアをまだまだ紹介していきたいと思っていますので、今後の学生スタッフの企画にご注目ください。